

推 進 施 策	6-1 人権学習・啓発の推進	No.	70		
事 業 名	指導者の養成	担当課	社会教育課		
事 業 概 要	人権教育の指導者育成のため、関連する研修会への参加を推進します。				
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)				
	市職員・市教職員				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	指導者の養成・資質向上、指導力の強化を図る。				
具 体 施 策 (Plan)	四国地区人権教育研究大会 徳島県人権教育研究大会 全国人権・同和教育研究大会 北部ブロック社会人権教育啓発研修会などに参加				
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	○第70回四国地区人権教育研究大会 徳島県徳島市 39名参加 ○第74回徳島県人権教育研究大会 アスティとくしま他 14名参加 ○第74回全国人権・同和教育研究大会 奈良県他 11名参加 ○北部ブロック社会人権教育・啓発推進者研修会 担当：藍住町 2名参加				
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない		
総 合 評 価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない		
	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価
3	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	職員をはじめ、多くの参加者確保ができるよう努める。	
教育委員会評価 (二次評価)	職員をはじめ、多くの方に参加していただき、資質向上に努めてください。				

推 進 施 策	6-1 人権学習・啓発の推進	No.	71			
事 業 名	人権啓発事業の実施	担当課	社会教育課			
事 業 概 要	市民の人権意識の向上のため、国・県の「人権教育・啓発に関する基本計画」と連携を図りながら、「阿波市人権教育啓発に関する基本計画」に基づいて推進します。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を) 市民 意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの) 人権意識の高揚					
具 体 施 策 (Plan)	人権啓発講座「心のリフォーム学級」(阿波市民対象) 阿波市人権フェスティバル(阿波市民対象) 人権問題講演会(阿波市民対象) 市内企業職員人権研修会(吉野川安定所管内人権啓発企業連絡会) 児童・生徒人権作品集全戸配布(阿波市民対象・市内小中学校児童・生徒) 1回全戸配布					
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	○人権啓発講座「心のリフォーム学級」(阿波市民対象) 講師4人(6月・7月・9月・10月)延べ201名 ○阿波市人権フェスティバル(阿波市民対象)延べ274名 ○人権問題講演会(男女共同参画講演会・阿波市民対象)延べ332名 ○市内企業職員人権研修会(吉野川安定所管内人権啓発企業連絡会)視察地:神戸市 ○児童・生徒人権作品集全戸配布(阿波市民対象・市内小中学校児童・生徒) 1回全戸配布					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。) ☐ 増加 ☒ 横ばい ☐ 減少 ☐ かなり減少 有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。) ☐ 十分寄与する ☒ 概ね寄与する ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない					
総 合 評 価	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価	成果が上がっている
	3	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する					課題や今後の方針 (Action) 引き続き市民が参加しやすいよう事業開催を努める。
教育委員会評価 (二次評価)	今後も市民が参加しやすい、事業、講座の開催し、人権意識の高揚に努めてください。					

推 進 施 策	6－2 人権学習子ども会（ばあわーあっぷ事業）の推進		N o .		72	
事 業 名	ばあわーあっぷ事業		担当課		社会教育課	
事 業 概 要	人権尊重の精神を育成するとともに、基礎学力の定着や生活の質の向上を図ります。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)					
	吉野中学校・一条小学校・柿原小学校・八幡小学校					
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
「ばあわーあっぷ」という名称には、阿波市の【あわ】と、学力定着・学力向上・人権学習を主とし【子どもたちのパワーアップ】の願いが込められています。						
具 体 施 策 (Plan)	一条・柿原・八幡・吉野中を対象に教科学習・人権学習を実施する。その他人権フェスティバル（手話コーラス）への参加・人権学習遠足・人権研修等を予定している。					
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	受講生数が昨年度と比べて増加した。人権教育学習を中心に実施した。人権フェスティバル（手話コーラス）への参加を積極的に行った。また、年2回ばあわーあっぷ保護者会を開催し、情報交換を行った。指導員も熱意を持って指導にあたり、児童・生徒との信頼関係を築いている。					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	☐ 増加		☒ 横ばい		☐ 減少	
	☐ かなり減少					
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	☒ 十分寄与する		☐ 概ね寄与する		☐ あまり寄与していない	
	☐ できていない					
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
☐ 十分できている		☒ できている		☐ あまり寄与していない		
☐ できていない						
目 標 達 成 度 (計画どおり目標を達成できたか。)	☐ 十分できている					
	☒ できている		☐ あまり寄与していない		☐ できていない	
総 合 評 価	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価	成果が上がっている
	3	4	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針 (Action)	ばあわーあっぷ受講生数は年によってばらつきはあるが、児童生徒だけでなく地域の方や学校からのニーズは高いので、引き続き、放課後学習や人権教育などに取り組んでいく。
教育委員会評価 (二次評価)	今後も引き続き、児童生徒との信頼関係の構築と、人権学習、学力支援に努めてください。					

推 進 施 策	6-3 国際感覚豊かな人材の育成と国際交流活動	No.	73		
事 業 名	英会話教室の開催	担当課	社会教育課		
事 業 概 要	初心者向け講座や中級者向け講座を開催します。				
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)				
	市民				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	英会話教室を通じて国際交流についての関心を高め、理解する。				
具 体 施 策 (Plan)	英会話教室の開催				
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	○外国語指導助手(ALT)4名を講師とする英会話教室を市内4か所で開催 参加者66名(初級42名 中級24名)開催数136回(4地区計)				
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	○増加	●横ばい	○減少	○かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	○十分寄与する	●概ね寄与する	○あまり寄与していない	○できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	○十分できている	●できている	○あまり寄与していない	○できていない	
総 合 評 価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	○十分できている	●できている	○あまり寄与していない	○できていない	
	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価
3	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	受講生が固定化の傾向にあり、より多くの市民が参加しやすい運営方法を検討する。	
教育委員会評価 (二次評価)	英語が身近なものになるよう、また多くの方が気軽に参加できるよう計画を進めてください。				

推 進 施 策	6-3 国際感覚豊かな人材の育成と国際交流活動	No.	74			
事 業 名	国際交流の推進	担当課	社会教育課			
事 業 概 要	各関係機関と協議・検討に努めます。 市民と、在留外国人との交流活動を支援します。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)					
	市民					
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
	関係機関の情報提供や外国語講座を通じて、市民の自主的な国際交流活動を支援する。					
具 体 施 策 (Plan)	市民ニーズに応じた外国語講座等の実施により、国際交流活動の推進を図る。					
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	○韓国語講座(阿波市生涯学習講座) 参加者10名 開催数9回 (再掲) ○外国語指導助手(ALT)4名を講師とする英会話教室を市内4か所で開催 参加者66名(初級42名 中級24名)開催数136回(4地区計)					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少			
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない			
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない			
事 業 の 評 価 (Check)	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)					
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない			
	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)					
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない			
	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)					
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない			
総 合 評 価	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価	成果が上がっている
	3	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針 (Action)	市民と外国人との国際交流活動を支援するために、外国語講座の実施やふれあい、情報提供に務める。
教育委員会評価 (二次評価)	気軽に市民と外国人が参加できるよう、講座の充実に取り組んでください。					